

群馬リハビリテーション病院



真ごころ

m a g o k o r o

32 | 季刊 |

2026.7

公益社団法人 群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院

| 特集 |

医療体育:MST

MEDICAL SPORTS THERAPY

とは

VR技術を用いたリハビリテーション
mediVRカグラを
導入しました



当院の勤務医師を紹介します。

(2026年7月1日 現在)



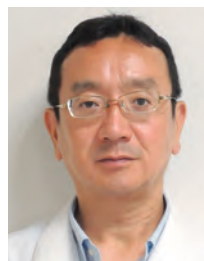
眞塩 清
病院長 整形外科



山田 聖一
副院長 内科



西野 昌宏
診療部長 整形外科



西 勝久
内科



林 信太郎
内科



矢島 賢司
内科



小山 洋
内科



佐々木 毅志
整形外科



森田 崇弘
ゆづあい荘 施設長

基本理念

明日をめざして

リハビリテーションを一人ひとりに

基本方針(三位一体)

まごころ



- 患者さん本位の「まごころ」ある良質な医療を提供する。
- 患者さん本位の「思いを込めて」ケアを実践する。
- 患者さん本位の「癒し」の施設を追及する。

ふれあい



- 地域活動にも積極的に参加し、地域住民との「ふれあい」を大切にする。
- 「良質な温泉」「緑豊かな自然」との調和をめざし、自然環境を大切にする。
- あいさつは明るく笑顔でまですわたちから。

おもいやり



- 職員同士お互いを「おもいやり」、情報の共有化を図る。
- 相手の立場を理解し、常に次の人のことを考える。
- 安全で明るく働きがいのある職場を確保する。

回復期リハビリテーション病棟 診療実績

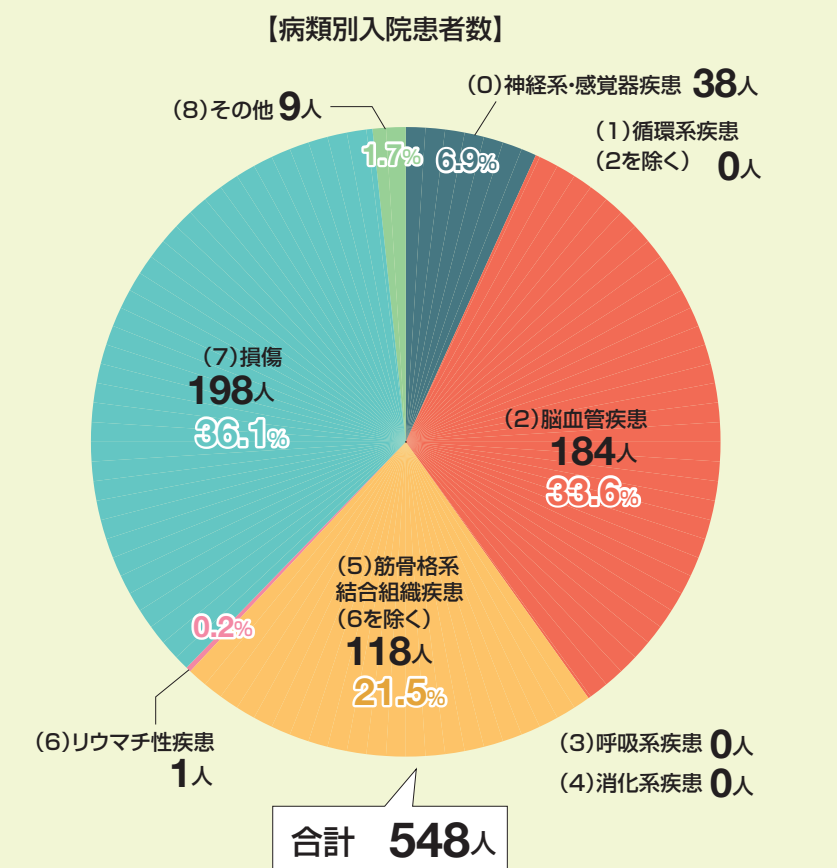
(2025年4月~2026年3月)

在宅復帰率	88.4%	重症患者受入率	49.5%
平均病床利用率	82.9%	重症患者改善率	76.9%
平均在院日数	102.9日	1日あたりの平均リハビリ提供単位数	6.81単位
疾患別割合(脳血管疾患等73.8%、運動器18.0%、廃用症候群8.3%)		休日における平均リハビリ提供単位数	6.97単位

入院統計 (2025年4月~2026年3月)

【地区別入院患者数】		構成比(%)	
郡市名	人		%
前橋	47	8.6	
高崎	42	7.7	
桐生	24	4.4	
伊勢崎	8	1.5	
太田	9	1.6	
沼田	15	2.7	
館林	1	0.2	
渋川	41	7.5	
藤岡	6	1.1	
富岡	5	0.9	
安中	9	1.6	
みどり	8	1.5	
佐波	4	0.7	
北群馬	8	1.5	
多野	1	0.2	
甘楽	0	0.0	
吾妻	267	48.7	
利根	29	5.3	
邑楽	3	0.5	
県外	21	3.8	
合計	548	100.0	

【県外別入院患者数】		構成比(%)	
都県名	人		%
東京	5	23.8	
埼玉	12	57.1	
その他	4	19.0	
合計	21	100.0	



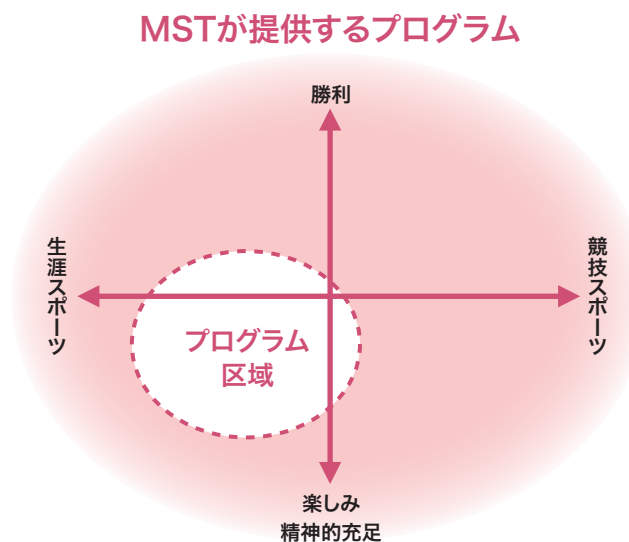
【性別・年齢層別入院患者数】		男		女		計	構成比(%)																	
年齢層	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	210	220	(人)
10才~19才				男(3)	女(1)	計(4)																		0.7%
20才~29才				男(1)	女(3)	計(4)																		0.7%
30才~39才				男(6)	女(4)	計(10)																		1.8%
40才~49才				男(15)	女(3)	計(18)																		3.3%
50才~59才				男(42)	女(17)	計(59)																		10.8%
60才~69才				男(46)	女(28)	計(74)																		13.5%
70才~79才				男(77)	女(86)	計(163)																		29.8%
80才以上				男(90)	女(126)	計(216)																		39.4%
合計				男(280)	女(268)	計(548)																		100.0%

医療体育:MST (MEDICAL SPORTS THERAPY) とは

はじめに

当院では、個別リハビリに加え、健康運動指導士による集団での体操・水中運動、リハビリテーションスポーツ(リハスポーツ)を提供する環境を整えています。

対象者のニーズ(身体機能・体力の強化、健康づくり、生きがいづくり等)に合わせて、より適した運動プログラムやスポーツ活動を提供、支援することで、退院後も社会で積極的にイキイキと活動することができるように、健康維持・増進につながる取り組みを行っています。




医療体育の概要
 名称 / 医療体育(MST; MEDICAL SPORTS THERAPY)
 内容 / 集団体操、水中運動、リハスポーツ、トレーニングサポート
 スタッフ / 健康運動指導士2名

1 プログラムの紹介

<p>Program 水中運動</p>  <p>男女別に実施しており、所要時間は40分間です。内容は、水中ウォーキングやプール内の手すりにつかまって行う下肢運動、水中でバランスを取りながら行う上下肢運動をグループ毎にプログラミングしています。</p>	<p>Program 集団体操</p>  <p>体操の所要時間は30分間です。内容は、ベッドに仰向けになって行う運動、ボールを使った運動、端座位で行う運動などを組み合わせ、プログラミングしています。</p>	<p>Program リハスポーツ</p>  <p>既存のスポーツ種目にとらわれず、参加している患者さんに合わせた道具やルール工夫によって、楽しめるカタチを模索しながら取り組んでいます。</p>
--	---	--

その他

患者さんのリハ目標や疾患特性に応じて、取り組んでいく内容や目的の確認、実施内容のブラッシュアップ、退院後を見据えた自主的なプログラム作成など段階的に取り組めるよう、ビギナー、ベーシック、アクティブと3段階のトレーニングサポートを設定しています。



2 集団で運動をすることの意義 / ケース紹介

Aさん 30代 男性 頭部外傷

性格: 病前より、引っ込み思案な性格で、集団活動も不得意。

リハ担当者から: 復職を目指す目標もあるので、活動性向上やコミュニケーション機会増を図って欲しい。

- 経過:**
- step 1** スタッフ2名との会話は問題なくできるが、集団プログラムの紹介に話が進むと、拒否的な反応。
 - step 2** スタッフ2名とのリハスポーツ実施、集団体操で行っている内容、雰囲気を知ってもらう体験を通して、まずはMSTスタッフとの関係性を構築した。
 - step 3** 集団体操への参加開始。雰囲気に慣れたタイミングで、同グループでのリハスポーツにも参加可能に。
 - step 4** 体操終了後、帰棟移動時に他の患者さんと会話をしたり、リハスポーツ時にコミュニケーションも見られるようになった。

3 取り組みの視点

<p>入院生活への刺激</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イキイキ感、メリハリ感 ⇒ 入院生活の“ハリ” ● MSTスタッフやプログラム参加者との関わり、リハスポーツでの勝ち負け体験などによって、感情が動き、普段と違った一面が引き出される。 	<p>集団活動による変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プレーにおける様々なやり取りの中で、他者を認めたり自身を認めてもらうことを通して、「自身の役割」を確認、自覚することで、自信につながる。 ● 自分自身、他者への注意・関心が向くことで「できる自分」の確認、模索、挑戦をしていくことができる。健康の維持・増進。 ● 楽しみながら取り組めるプログラムへ参加することで、退院後も身体機能を維持・生活の質を向上させていくことに目を向けやすくなる。
---	---

おわりに

当院にMSTがある利点は、「個別リハビリで培ったチカラを、入院している間に試せる場がある」ことだと考え、日々のプログラムを提供しています。また集団でトレーニングを行うことによって、患者さん同士のコミュニケーションが活性化したり、それぞれの悩みを打ち明けることで行われる「ピア・カウンセリング」の効果も発揮されやすいと考えます。これにより患者さん同士の悩みの共感、自己信頼の回復、障害受容など、個別リハでは得られづらい過程を踏むことができると考えています。リハビリテーションは個別で行うものだからこそ、MSTによる集団トレーニングにおける役割や価値が高まっていると実感しています。これからも、当院、当部署ならではの「リハビリ+アルファ」のサービスを継続していきたいと思っております。

VR技術を用いたリハビリテーション

mediVRカグラを導入しました

VRカグラとは? VRゴーグルを装着し、仮想空間に現れるさまざまな目標物を専用コントローラーを用いて触れることで、ゲーム感覚でリハビリを行う機器です。その効果としては様々なものが報告されており、今までのリハビリテーションとは違った方法で患者さんの身体や動きをよくしていく機序が報告されています。mediVRカグラは、動作の正確さや反応時間などを計測しながら課題の難易度を調整できるため、症状・状態に合わせたリハビリが可能です。楽しみながら繰り返し運動を行える点が特徴で、当院では脳血管疾患などの患者さんのリハビリテーションの一環として活用しています。 ※効果には個人差があります。

VRカグラによるリハビリの特徴

体性認知 協調療法

SCCT
somato-cognitive
coordination therapy

視覚や固有受容感覚、重心移動の情報を脳内で再統合する動きに着目したSCCTの考え方を参考にしたトレーニング「筋肉を鍛える」リハビリから「脳の情報処理過程を整理する」リハビリへ。

姿勢への影響

VR空間では自己の身体が認識できないため「**内在的感覚・予測的な姿勢制御**」の依存度を高める。

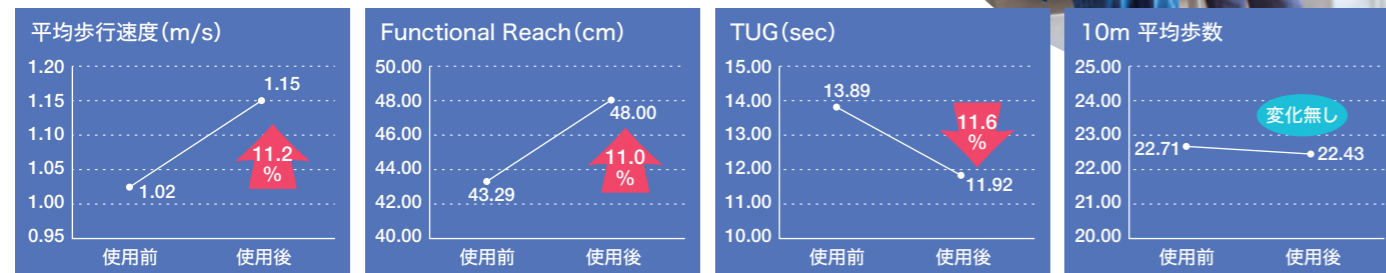
適応範囲

脳血管疾患・運動器疾患・神経変性疾患に留まらず「**協調性障害・高次脳機能障害**」にも活用が可能。

VRカグラプロジェクトチーム発足

- mediVRカグラ関連の勉強会に参加し、知識・技術を臨床現場に還元
- 適応患者を調査し、担当職員へ治療提案
- データ測定にて評価・分析
- mediVR株式会社の専門アドバイザーを加えた治療の実施

使用状況 脳血管疾患患者 R7年5月～12月使用者



結果

歩く速さ・バランス能力に関連する指標において変化が見られる傾向がありました。歩幅や歩数には大きな変化はみられなかったため、体重移動がスムーズになることや体幹の使い方の改善など、歩行の質的変化が関係している可能性が考えられました。

医療機関情報(関東信越厚生局長への届出に関する事項)

2026.6.1～

基本診療料

- ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料1
- ・ 療養病棟入院料2
- ・ 療養病棟療養環境加算1
- ・ 医療安全対策加算2
- ・ 感染対策向上加算3
- ・ 連携強化加算
- ・ サーベイランス強化加算
- ・ 排尿自立支援加算
- ・ 認知症ケア加算1
- ・ 入退院支援加算1
- ・ 地域連携診療計画加算
- ・ 患者サポート体制充実加算
- ・ 診療録管理体制加算2
- ・ データ提出加算1及び3

特掲診療料

- ・ 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
- ・ 運動器リハビリテーション料(1)
- ・ 摂食嚥下機能回復体制加算1
- ・ 外来在宅ベースアップ評価料(1)
- ・ 入院ベースアップ評価料

回復期リハビリテーション病棟 対象患者区分表

疾患	算定上限日数
1 ①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、または義肢装着訓練を要する状態 ②高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の脊髄損傷者および頭部外傷を含む多部位外傷	①算定開始日から起算して150日以内。 ②高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸椎損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合は算定開始日から起算して180日以内
2 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、または二肢以上の多発骨折の発症後または手術後	算定開始日から起算して90日以内
3 外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後	算定開始日から起算して90日以内
4 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後	算定開始日から起算して60日以内
5 股関節または膝関節の置換術後の状態	算定開始日から起算して90日以内

患者さんの権利と義務

当院では次の事項を旨とし、患者さんと医療従事者が手を結び合い、より良い医療の実現を目指します。

【権利】

1. 平等かつ最善な医療を受ける権利があります。
2. 自らの状況について十分な情報を得る権利があります。
3. 自らの意志に基づいて医療行為を選択する権利があります。
4. プライバシー尊重の権利があります。
5. セカンドオピニオンを要求する権利があります。

【義務】

1. 医療提供者に正確な情報を伝える義務があります。
2. 自らの状況について納得いくまで質問する義務があります。
3. 出来る限り自らの意向を正確に伝える義務があります。
4. 他の患者さんへの医療に支障がないよう配慮する義務があります。

新入職員研修

2026年4月1日(水)

新入職員を対象に入職時研修を実施しました。

チーム医療に関わる一員として協力し合い、より良い医療を提供していきます。



院長講義



集合写真



辞令交付



外来診療案内 (リハビリテーション科・内科・整形外科・神経内科・リウマチ科)

※変更になる場合がございますので、随時お問い合わせください。

2026.4.1~

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
内科	午前	西 勝久	小山 洋	矢島 賢司	西 勝久	神経内科 笠原 浩生	休診
	午後 (15:00~)	休診	リウマチ科 [第2・4・5]西川	休診	休診	休診	休診
整形	午前	西野目 昌宏	休診	眞塩 清	佐々木 毅志	佐々木 毅志	休診
	午後 (15:00~)	休診	リウマチ科 [第2・4・5]西川	休診	休診	休診	休診

外来診療受付時間
9:00~11:30

診察時間
9:30~12:00

休診日
日曜・祝日・年末年始(外来リハビリもお休みです)

リウマチ科 第2・4・5 火曜日 受付時間 9:00~16:00
診察時間 15:00~

神経内科 毎週 金曜日 笠原医師は内科の診察も行なっております。

※保険証は、毎月必ずご提出ください。 ※担当医は、変更になることがあります。

